

平成19年度事業計画

< 資料編 >



財団法人 横浜市芸術文化振興財団

目 次

平成19年度事業計画 資料編

1 . 自主事業集計表	2
2 . 部門・施設別事業一覧表	
〔1〕芸術創造都市推進部門	
芸術創造都市推進部門	5
〔2〕拠点施設経営事業部門	
横浜美術館	7
横浜みなとみらいホール	10
横浜能楽堂	16
横浜にぎわい座	18
横浜赤レンガ倉庫1号館	21
大佛次郎記念館	24
横浜市民ギャラリー	25
横浜市民ギャラリーあざみ野	27
旭区民文化センター(サンハート)	29
磯子区民文化センター(杉田劇場)	31
吉野町市民プラザ	34
岩間市民プラザ	36
3 . 運営施設一覧	38

1. 自主事業集計表

事業目的別 自主事業集計表

	芸術創造 ・発信事業	芸術家発掘 ・支援事業	市民協働 推進事業	市民アクセス 拡大事業 (鑑賞系)	市民アクセス 拡大事業 (体験等)	都市政策的 事業	情報事業	合計		
								H17年度 実績	H18年度 計画	H19年度 計画
芸術創造都市 推進部門			12		30	133	4	95	112	179
横浜美術館		4	3	7	214		10	307	327	238
横浜みなと みらいホール	11	21	5	112	12	10		164	134	171
横浜能楽堂	4		1	4	20	1		52	32	30
横浜 にぎわい座	14	12	8	208	17		1	239	245	260
横浜赤レンガ 倉庫1号館	16	25	1			9		77	41	51
大佛次郎 記念館				5	2		1	7	8	8
市民ギャラリー		1		1	6			1	5	8
市民ギャラリー あざみ野		1	29	7	33			35	56	70
旭区民 文化センター		3	11	5	10			34	32	29
磯子区民 文化センター	2	4	29	9	27		20	84	34	91
吉野町 市民プラザ		4	75	4	4			21	19	87
岩間 市民プラザ	6		2	20	2			31	31	30
事業数合計	53	75	176	382	377	153	36	1,146	1,076	1,252
入場者数	21,884	56,119	42,008	587,568	79,513	1,263,310	21,000	3,788,304	2,099,786	2,071,402
(参考) H18年度計画 事業数	31	84	90	415	389	67	2			

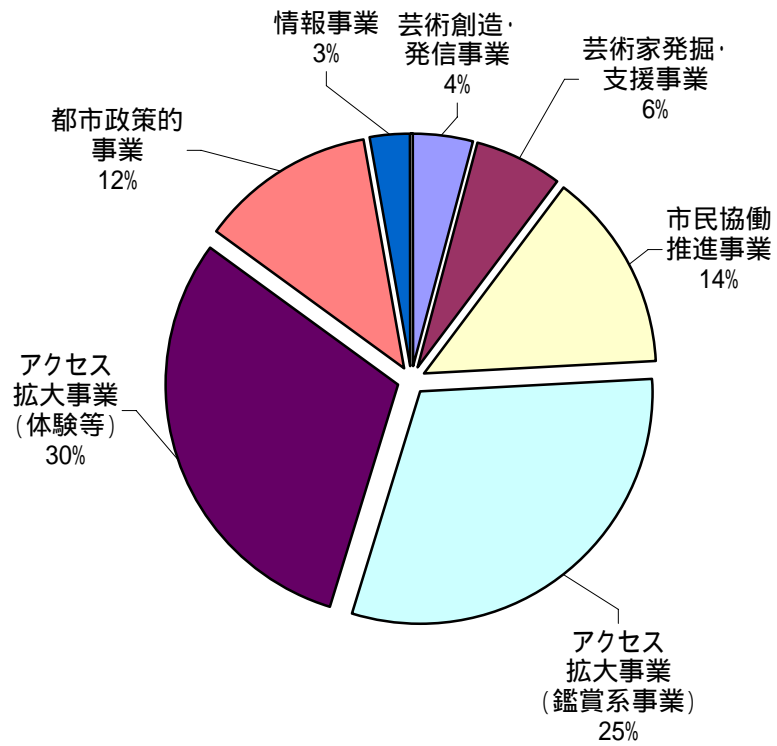
1 市民ギャラリー開催事業は、横浜美術館の値に含まれています。

2 情報事業は、19年度より新たに設定した事業目的

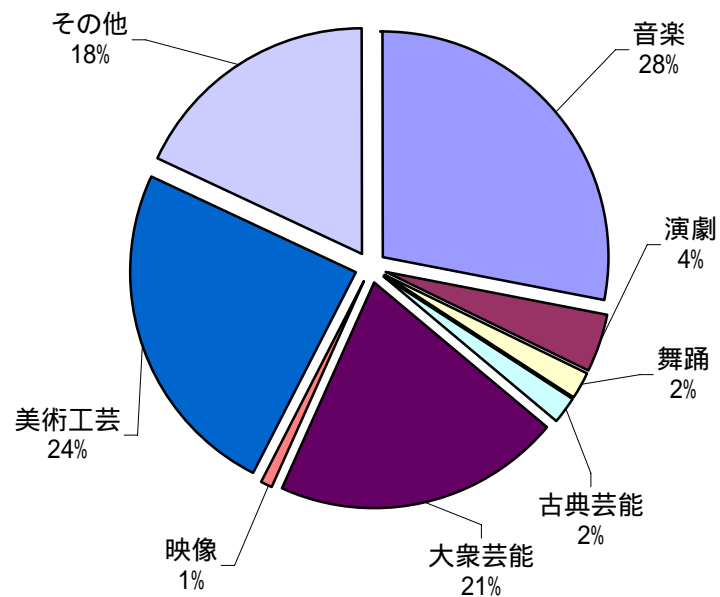
ジャンル別 自主事業集計表

	音楽	演劇	舞踊	古典芸能	大衆芸能	映像	美術工芸	その他	合計
芸術創造都市 推進部門	98	30				1		50	179
横浜美術館							238		238
横浜みなと みらいホール	170							1	171
横浜能楽堂	2			24				4	30
横浜 にぎわい座		4			248			8	260
横浜赤レンガ 倉庫1号館	2	5	23		3	3	10	5	51
大佛次郎 記念館								8	8
市民ギャラリー							8		8
市民ギャラリー あざみ野	25		1				40	4	70
旭区民 文化センター	12	1			4		3	9	29
磯子区民 文化センター	19	2					2	68	91
吉野町 市民プラザ	12		1		2		3	69	87
岩間 市民プラザ	12	9				8		1	30
事業数合計	352	51	25	24	257	12	304	227	1,252
入場者数	341,573	30,550	6,199	10,467	120,980	39,170	482,730	1,039,733	2,071,402
(参考) H18年度計画 事業数	265	15	17	33	244	13	351	138	1,076

事業目的別 事業数構成比



ジャンル別 事業数構成比



2. 部門・施設別事業一覧表

〔1〕芸術創造都市推進部門

【芸術創造都市推進部門】

市民協働推進事業

No.	開催時期	事業名	会場	事業内容
1	通年	横浜市文化芸術の創造性を活かした地域づくり事業 ～アートお届け隊～	市内各所	地域での文化芸術活動を、区役所、NPO、企業等と連携して実施する事業。市、区役所と連携して地域における担い手を支援する。
2	通年	横浜トリエンナーレ2008市民活動支援	市内各所	トリエンナーレ2008に向けた市民・NPO・アーティストの自主的活動を支援する。

芸術への市民アクセス拡大事業(体験・参加・学習等)

No.	開催時期	事業名	会場	事業内容
1	通年	芸術文化教育プログラム推進事業	小学校	学校へのアーティスト派遣による芸術文化教育プログラム実施(30校)

都市政策的事業

No.	開催時期	事業名	会場	事業内容
1	4月 11月	横浜音楽空間	イセザキモールほか	ストリートミュージシャンの活動支援のしくみを構築するための実験事業の実行委員会事務局を担う。 イセザキモールでの定期的実施と市営地下鉄駅等、新規会場でも実施。
2	5月 3月	ヨコハマEIZONE	市内各所	財団施設のほか、都心部に点在する歴史的建造物や倉庫等を活用し、各団体が自主的に行う映像作品の展示を連携した回遊型イベントにおいて、事務局支援機能を担う。
3	9月 10月	横浜ジャズプロムナード2007	開港記念会館、横浜みなとみらいホールほか	横浜市街地を代表とするスポットを会場に、音楽を聴くことと街を楽しむことを融合させたフェスティバル。横浜市内の約90会場にて同時進行でライブを実施する。企業や地域、市内行政機関と連携した関連イベントも多数実施する。 公演:350(ホール、街角) コンペティション 展示 など
4	9月 10月	創造都市交流	市内各所	国内のNPO、財団等の海外諸都市派遣、横浜市におけるワークショップ及びシンポジウムを開催。事務局機能を担う。
5	3月	みなと横浜演劇祭2008	関内ホール、横浜赤レンガ倉庫1号館、横浜にぎわい座、青少年センターホール、県民共済みらいホール、ほか	実行委員会制作による新作の上演 海外招聘公演 コア企画、一般企画などの参加公演 シンポジウム
6	通年	ZAIM管理運営	ZAIM	次回トリエンナーレに向けた市民・NPO・アーティストの自主的活動拠点として、施設管理・運営を推進する。

7	通年	アーツコミッション事業		<p>アーティスト・クリエイターの活動に対する相談支援業務。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワンストップ相談窓口の設置 ・アーティスト・イン・レジデンス業務 ・住居、事務所等を紹介するシステムの構築 ・人材育成事業に対する助成
---	----	-------------	--	--

情報事業

No.	開催時期	事業名	会場	事業内容
1	4月 3月	ホームページの運営		財団広報宣伝媒体として、より一層「見て・使って・調べて」楽しく役立つよう運営する。携帯サイトなど機能の充実を図り、Web広告の取得など収益強化も推進する。
2	4月 3月	「ヨコハマ文化情報」発行		アートカレンダーの充実・見やすさを追及し、さらにホームページとの連携をより一層進め、市内の文化情報の提供を強化する。一方で広告枠を増やし自主財源比率を高める。
3	7月	アニュアルレポート発行		財団の概要を紹介する総合的なパンフレット(予算・決算、事業の紹介、収支状況、役員紹介等)を作成し、財団を紹介するための効果的なツールとする。
4	4月 3月	アートチャンネル事業		財団の事業を撮影・記録・配信を計画的に実施し、常に新しい財団の姿を市民に提供する。また、市内ケーブルテレビ各社へ配信を働きかけ、発信機能を高める。

〔 2 〕 拠点施設経営事業部門

【横浜美術館】

芸術家発掘・支援事業

No.	開催時期	事業名	会場	事業内容
1	4月 3月	アーティスト・イン・ミュージアム横浜	横浜美術館	公募アーティストによる滞在制作「地域と美術館をつなぐ」(仮称)。「水の情景」展、「GOTH」展の一環としての作家滞在制作等。スタジオの公開、ワークショップ、トークなどを通じ、アーティストの制作の現場に身近にふれ、美術に親しむ機会を提供。同時に来館者、ボランティアスタッフ、地域の人々とのコミュニケーションを通じ、アーティストに潜在する可能性をひきだし、横浜発の新しい美術が生まれることを目指す。
2	4月 3月	新進アーティスト展	横浜美術館	キュレトリアルサポーター(市民ボランティア)の調査、選定による新進アーティストの展覧会の開催。その他、新進アーティストによる展覧会(2展)等。
3	1月 2月	アートギャラリー展	横浜美術館	アーティスト発掘育成事業の一環として、1月～2月の2ヶ月間アートギャラリー1・2を新鋭アーティストの発表の場として、美術大学、専門学校卒業制作展、学生グループ等による展覧会を行う。

市民協働推進事業

No.	開催時期	事業名	会場	事業内容
1	4月 3月	人材育成事業	横浜美術館	市民が美術の活動を通して新たな自己実現を体験し、生活の充実を図ることを目指す。また、市民と美術館をむすぶ人材を育成し、それによって館外でのアウトリーチ活動等を行う体制を築く。 1. ボランティア学校を開催し、ボランティアの意義を理解して活動できる人材を育成 2. 美術館就労希望の学生を対象にインターンシップやセミナーを通じて美術を深く考察できる人材を育成 3. 市内小中高校の教師を対象にした鑑賞ワークショップを開催し、新しい鑑賞教育のあり方を啓発

芸術への市民アクセス拡大事業(鑑賞系)

No.	開催時期	事業名	会場	事業内容
1	4月 7月	水の情景-モネ・大観から現代まで	横浜美術館	私たちの日常生活において最も身近な存在であり、かつアート題材としても極めて重要なものである「水」をテーマにした展覧会。様々な分野のアーティストによる「水」を表現した作品の展示に加え、横浜市水道局や民間団体等との共同作業により、屋内外での「水」に関わるイベントを実施。水道発祥の地・横浜における水道整備120周年という年にあわせ、芸術における「水」の重要性、「水」そのものの美しさ、そして私たちと「水」との関係などについて感じ、考える機会とする。

2	7月 9月	森村泰昌-美の教室、静聴せよ	横浜美術館	1996年の個展開催から10年を経て、森村の最初期の美術史シリーズを中心とした作品と新作によって、その活動を今一度展覧する。本展は、まるで「美術の授業」を行っているかのような展覧会で、まず会場入ると小学校の教室、その奥には「謎の扉」。ここをくぐると、あとは漂流教室。さまざまな美術の歴史をさまようことになる。森村泰昌を「先生」に、美術の歴史をもう一度学ぶ。最後のテストに合格すると修了証書を発行。巡回先:熊本市現代美術館
3	9月 12月	シュルレアリスムと美術展	横浜美術館	横浜美術館の西洋美術コレクションの中心を占めるダリ、マグリット、デルヴォー、マン・レイなどのシュルレアリスムの美術が、美術の表現において何をもちたらし、今日の美術や生活にとっていかなる意義をもつかを明らかにする。宇都宮美術館、豊田市美術館との共同開催とし、実行委員会形式によって開催経費を分担すると共に、3館の収蔵品に加え、国内外から重要作品を借用して魅力ある重厚な展示を目指し、市民が当館収蔵品の新たな価値を19世紀末から現代に至る大きな流れの中で発見できることを目的とする。
4	12月 3月	GOTH:逸脱する世界のリアリティ	横浜美術館	「ゴス」と形容される現象とは、19世紀イギリスに中世懐古趣味として展開した幻想的文学をルーツに持つ文化的現象であるが、現在では、幻想的・怪奇なもの、死や夜、病的なもの、狂気、トランスジェンダー、装飾過剰なイメージなどに分類される趣味を指すものとして捉えられている。本展では、アートの領域における「ゴス/ゴシック」的要素を、大勢的な価値観や既成の枠から逸脱する価値観の象徴として捉え、表現しようとする作家たちの活動を紹介する。出品作品は、世界中のさまざまな地域出身の若手作家による立体・平面・映像・パフォーマンスなどで構成され、彼らの作品に共通して見られる身体や皮膚をめぐる表現を、ポップ・カルチャーにおけるひとつのキーワード(=ゴス)を通じて読み解こうとするものである。
5	4月 3月	横浜美術館コレクション展	横浜美術館	横浜美術館の所蔵作品について、3期に分け、会期ごとにテーマを設定・構成し、コレクション展を開催。

芸術への市民アクセス拡大事業(体験・参加・学習等)

No.	開催時期	事業名	会場	事業内容
1	4月 3月	教育普及事業	横浜美術館	市民の誰もが美術に親しみ、自らの創造性を高めることのできる美術館を実現するために横浜美術館の「観る」「創る」「学ぶ」という機能を連動させたプログラムを実施。 <美術館ツアー> <子どものための鑑賞プログラム> <鑑賞キット> <横浜美術館夏休みこどもフェスタ> <ティーチャーズデイ> <出張美術講座> <ワークショップ> などのアウトリーチ 横浜市民を中心とした一般の方を対象に <美術夜間学校> を開校

2	4月 3月	子どものアトリエ講座	横浜美術館	幼稚園・保育園、小学校、盲・ろう養護学校、各種学校、区個別支援学級などと連携して行う「学校のためのプログラム」を年100日開催する。幼児・児童を対象に「日曜造形講座」「長期日曜造形講座」「夏休み造形講座」を16講座開催する。日曜日の午前中に幼児・児童とその保護者を対象にした「親子のフリーゾーン」を年42回開催する。教師を対象に子どもの育ちと造形をテーマにした研修を春と夏に各2日間実施する。また、子どものための展覧会として、参加型の展覧会「ダンボールアート展」を開催する。
3	4月 3月	市民のアトリエ講座	横浜美術館	【初めての人でも気軽に参加できるプログラム】(アート・アラ・カルト)(12コース)初めての人でも気軽に参加できる短期コース、【じっくりと制作に取り組むプログラム】(15コース)アーティストと共にアート表現に取り組み、時間をかけて制作に取り組む。【オープンスタジオ】(14コース)参加者が自主的に自分の制作に取り組むプログラム、【教員研修プログラム】(2コース)中学校、高等学校の教員を対象とした美術実技研修

情報事業

No.	開催時期	事業名	会場	事業内容
1	通年	美術情報センター図書	横浜美術館	・図書・雑誌(120誌)の購入 ・図書・洋カタログの整理 ・マイクロリーダーの保守 ・ディテクションシステムの保守 ・映像資料の収集 ・コピーサービス
2	通年	横浜美術館アーカイブプロジェクト	横浜美術館	現代美術アーカイブプロジェクトチームが核となって、「現代美術アーカイブ」を構築し、横浜トリエンナーレ支援、アーティストの発信を行う。インターン、ボランティアと共に活動を進め、積極的な情報収集、整理、情報提供のシステムを確立。
3	通年	美術情報センター運営	横浜美術館	美術情報センターの運営(ほか、情報収集、広報、システム維持)
4	通年	美術作品管理	横浜美術館	収蔵美術品管理のための撮影、修復、燻蒸。収蔵作品のデータベース化。
5	通年	企画調査	横浜美術館	次年度以降の展覧会企画のための国内外調査、出品交渉など開催準備実施。
6	通年	横浜美術館コレクション収集	横浜美術館	購入、寄贈、寄託による作品収集を促進するため、収集候補作品の調査、資料作成などを行う。
7	通年	横浜美術館研究紀要発行事業	横浜美術館	横浜美術館および横浜における美術・文化に関する活動と研究の成果を、論文等によりまとめ、概要の英訳を付して刊行。美術館職員等が執筆する研究論文等を三編程度掲載。原則、年1回の発行。

【横浜みなとみらいホール】

芸術創造・発信事業

No.	開催時期	事業名	会場	事業内容
1	6月 12月	レクチャーコンサートシリーズ 「ピアノの歴史」	小ホール	ハイドン、モーツァルトからベートーヴェンが活躍していた時代まで、ピアノを各時代ごとの作品とともにたどるレクチャーコンサート。当時のオリジナル楽器やそのレプリカを使用して、解説とともに、それぞれの時代の名曲を鑑賞する。横浜を拠点に活躍する古楽器の権威、渡辺順生をコーディネーターとして、氏を中心に多彩な講師陣や演奏家を起用していく。18年度からの継続事業。
2	7月	オルガン・リサイタルシリーズ・19	大ホール	オルガン事業の中核をなす、オルガン音楽鑑賞のリサイタル。ホールのオルガンがアメリカのオルガンであることにちなみ、昨年度より、開港150周年に向け、毎年アメリカのオルガニストを招聘して紹介。他地域のオルガンを有するホールへも紹介し連携を図る。
3	12月	ワールドミュージック	大ホール	世界の音楽や民族楽器によるコンサート。19年度はボサノバ、東急文化村との共同企画。
5	2月	みなとみらい 新・アマチュア室内楽フェスティバル	小ホール	「アマチュア室内楽フェスティバル」は東京を拠点に18年間続いた後、横浜に拠点を移した企画。日本全国各地よりクラシックから邦楽、様々な珍しい楽器や編成のアマチュアグループが集う。横浜のアマチュアグループも多数参加しつつ、全国より集まったアマチュア音楽家が演奏し交流し発信するフェスティバル。
4	3月	オルガン・リサイタルシリーズ・20	大ホール	オルガン事業の中核をなす、オルガン音楽鑑賞のリサイタル。毎年、日本のオルガニストの演奏会では、作曲家と出演オルガニストの協働で新作を委嘱し、リサイタルの中で発表する。今年度は早島万紀子が出演。
5	未定	村井秀清 ジャズピアノ協奏曲新作初演コンサート	小ホール	横浜を拠点に活躍する若手ジャズピアニスト、村井秀清氏に、ジャズと小編成オーケストラのための協奏曲を委嘱し、初演する公演。
6	未定	Just Composed in Yokohama 次年度選定委員会		年1回開催のシリーズ事業「Just Composed in Yokohama」の平成19年度実施公演に関し、委嘱作曲家を選定し、新曲を委嘱するための選定委員会を開催する。専門性の高い分野であるため、選定委員会の委員は音楽の専門家により組織する。

芸術家発掘・支援事業

No.	開催時期	事業名	会場	事業内容
1	4月 6月	かながわ音楽コンクール	小ホール	神奈川の音楽家の登竜門、「かながわ音楽コンクール」の入賞者記念コンサート。
2	5月	第7回国際パデレフスキピアノコンクール 第1回横浜ピアノコンクール	小ホール	ポーランドで開催される国際パデレフスキピアノコンクールの日本予選。
3	5月	横浜オペラ未来プロジェクト/ ロッシェニ：歌劇「セヴィリアの理髪師」	大ホール BankART	若い芸術家が横浜に集って音楽芸術創造活動を行い、その成果を横浜から世界に向けて発信するという、2005年から継続しているプロジェクト。若手指揮者、村中大祐を芸術監督に、オペラ歌手、オーケストラ、音楽スタッフなどを公募オーディションで選出し、2007年度は、ロッシェニ作曲のオペラ「セヴィリアの理髪師」を上演する。本公演は2公演、他に公開リハーサル等を予定。演出は、世界的演出家ミハエル・ハンペ。

4	11月	第26回横浜市招待国際ピアノ演奏会	小ホール	世界各地の優れた若手ピアニストの中から日本人1名を含む4名のピアニストを選定・招聘し実施するピアノ演奏会。市内の音楽家からなる「企画委員会」を設け、ピアニストの選定を実施。市内の企業や個人からなる「横浜市招待国際ピアノ演奏会支援の会」がコンサートを資金面等でサポート。
5	11月 12月	全日本学生音楽コンクール 全国大会 in 横浜	小ホール	日本音楽コンクールの学生版でもあるコンクール。全国の予選を通過してきたレベルの高い演奏が、横浜みなとみらいホールで競われる。優秀者は横浜みなとみらいホールの主催公演にも出演予定。主催：毎日新聞社
6	2月	Just Composed 2007 in Yokohama ～現代作曲家シリーズ～	小ホール	新進作曲家による委嘱作品含む現代作品のコンサート。作品を委嘱する作曲家は、選定委員会で決定。コンサートとは別日程で、関連レクチャー「白石美雪のはじめて聴く現代音楽」を実施。
7	3月	ハーブ新人演奏会	小ホール	音大を出たての有望な若手ハーピストを紹介するコンサート。将来の一流奏者としてのキャリアが、横浜みなとみらいホールから始まる。
8	未定	屋上庭園コンサート	6F中庭	6階中庭スペースを利用したドリンク付きの屋外コンサート。若手の演奏家を起用し、ジャンルにとらわれない企画で開催。
9	未定	レセプションルーム・コンサート	レセプション ルーム	レセプションルームでの夜景を楽しみながらのサロンコンサート。声楽・器楽など様々な若手演奏家を起用。
10	未定	アーティスト・イン・レジデンス横浜2007		新進気鋭の作曲家に、コンサート、ワークショップ、フィールドワークなどをプロデュースしてもらう事で芸術創造活動の機会を提供する。また活動の中で市民参加の場を提供、そのプロセスや成果を内外に発信する。また幅広いジャンルの若手アーティストを加え、既成にとらわれない新しいアートの可能性を探り、横浜発の新しいアートスタイルを確立する。斬新で魅力溢れる企画をプロデュースする事が、作曲家にとって今後の作曲活動の糧となるとともに、横浜から才能溢れる新進アーティストを紹介していく機会となる。
11	5月 3月	横浜みなとみらいホール オルガニスト・インターンシップ・プログラム		若手オルガニストを対象に、ホールオルガニストの業務を体験する機会を提供する。ホールオルガニスト三浦はつみの指導により、オルガンメンテナンスや事業の企画制作を実地経験。月5～8回程度ホールに来館。インターン終了後の「1ドルコンサート」をはじめ、演奏の機会も積極的に提供するとともに、他のオルガンを有する施設にも積極的に紹介。
12	未定	プレーヤー・イン・レジデンス		横浜オペラ未来プロジェクトやその他の事業などで発掘した若手演奏家に練習場所を提供し、発表の機会を設ける。
13	通年	アートマネジメント・インターンシップ・プログラム/(準備)		アートマネジメント学科専攻生を対象に、横浜みなとみらいホールの企画・運営にインターンとして参加してもらい、実践的なアートマネジメントを学ぶ機会を提供。

市民協働推進事業

No.	開催時期	事業名	会場	事業内容
1	7月	第16回よこはまマリン・コンサート	大ホール	横浜在住の音楽家による、声楽、ピアノ、弦楽合奏等によるバラエティに富んだ内容の演奏会。毎年海の日にちなんで開催し、夏の風物詩として定着した公演。横浜を拠点とする音楽の専門家による団体との協働により実施。
2	9月	ヴィルトゥオーゾ横浜	小ホール	横浜を拠点とする音楽家による常設の弦楽合奏団と協働で実施する定期公演。弦楽合奏のための名曲の他、横浜発の新しい作品を作曲家に委嘱して初演。
3	2月 2月	第27回ヨコハマ・コーラルフェスト	小ホール 大ホール	市内の合唱団体が抽選で約100団体出演し、大ホール1日 小ホール2日 計3日間実施する合唱フェスティバル。実行委員会と財団が主催。運営は市民有志による実行委員会が実施。
4	通年	ミュージックスタジオ		市民のための様々な音楽講座を開設。経験豊富な講師を招き、6階スペースや練習室などを多角的に利用する。
5	通年	市民企画公募事業/準備		市民より公募した企画を企画委員会内で選定、優れた企画を市民と協働で実施。
6	通年	団体活動支援事業		市民の芸術活動の拠点となるよう、ホールの6階部分を期間限定で貸出。

芸術への市民アクセス拡大事業(鑑賞系)

No.	開催時期	事業名	会場	事業内容
1	4月	京都フランス音楽アカデミー アンサンブル・スペシャル・コンサート2007 & 公開レッスン	リハーサル 室 小ホール	京都で行われる専門家対象の講座「京都フランス音楽アカデミー」のために来日した、パリのコンセルヴァトゥール、エコール・ノルマル等、世界第一線の教授陣による、室内楽コンサートと公開レッスン。
2	4月 1月	貸館鑑賞公演支援	大ホール	比較的利用率の低い区分に、質の高い鑑賞公演を誘致し、稼働率の向上を図る。19年度はジュリエット・グレコ(4月)からユンディ・リ(1月)まで様々な公演がおこなわれる。
3	4月 3月	日本フィルハーモニー交響楽団横浜定期演奏会	大ホール	主要な在京オーケストラのひとつ、日本フィルハーモニー交響楽団の横浜定期公演。東京の定期公演と内容を変えつつ、月1回のペースで開催。夏休みや年末には特別演奏会も実施。
4	4月 3月	読売日本交響楽団横浜公演	大ホール	主要な在京オーケストラのひとつ、読売日本交響楽団の横浜定期公演。東京の定期公演と内容を変えつつ、月1回のペースで開催。夏休みや年末には特別演奏会も実施。
5	4月 3月	昼どきクラシック	大ホール	平日の昼に開催する演奏会。親しみやすい内容で50分程度のプログラムで実施。内容は室内楽を中心としつつ、声楽や合唱を入れるなど多彩。毎月1回、1日2回実施。入場料金は通常800円と安価に設定。昼休みを利用した来場者等のために、ランチボックスとのセット券も用意。

6	4月 3月	オルガン・1ドルコンサート	大ホール	原則毎週第4水曜日に開催するオルガンコンサート。入場料は1ドルまたは100円。オルガンコンサートの導入として、親しみやすい音楽と本格的なオルガン音楽を組み合わせたプログラムで、オルガン音楽の魅力を聴かせる。
7	4月 3月	神奈川県フィルハーモニー管弦楽団 定期演奏会	大ホール	神奈川県唯一のプロ・オーケストラ神奈川県フィルハーモニー管弦楽団の定期演奏会。
8	6月	ミハイル・プレトニョフ/ ロシアナショナル管弦楽団	大ホール	ピアニストでもあるミハイル・プレトニョフが創設した世界屈指のオーケストラ。ソリストはチャイコフスキー・コンクールの覇者、上原彩子。
9	7月	パーヴォ・ヤルヴィ/ ドイツ・カンマー・フィルハーモニー管弦楽団	大ホール	平成18年度、当ホールでおこなわれたベートーヴェン・チクルスで日本のクラシック音楽界に大きな旋風を巻き起こしたパーヴォ・ヤルヴィとドイツ・カンマーフィル。ベートーヴェン・シリーズ第5弾のトリプル・コンチェルトを演奏予定。
10	7月	マキシム・ヴェンゲーロフ/UBSヴェルビエ・フェスティバル室内オーケストラ	大ホール	毎夏にスイスのヴェルビエで行われる音楽祭とアカデミーでのレジデンス・オーケストラとしての活動の他、毎年11月には世界的規模のツアーを行う実力派のユース・オーケストラであるUBSヴェルビエ・フェスティバルオーケストラの室内楽編成。100年に一人の逸材といわれるマキシム・ヴェンゲーロフが指揮と独奏。
11	9月	ロリン・マゼール/ トスカニーニ交響楽団	大ホール	偉大な指揮者アルトゥーロ・トスカニーニの名を冠する音楽財団によって2002年に設立されたオーケストラ。厳正なオーディションによって選ばれたメンバーで構成。指揮はロリン・マゼール、ソリストは五嶋龍を予定。
12	9月 10月	心の教育ふれあいコンサート	大ホール	横浜市内の小学校、聾学校、養護学校、盲学校の4、5、6年を対象としたオーケストラコンサート。演奏は神奈川県フィル。単なる音楽教室ではなく、子どもたちが迫力あるオーケストラの演奏を、肌で感じられるよう選曲。
13	9月	ザ・ファイブ・ブラウンズ	大ホール	アメリカ出身の20代の姉妹兄弟5人による、スタインウェイのフルコンサートピアノ5台を使ったコンサート。エデュケーションプログラムも実施予定。
14	9月	0才からの1ドルコンサート	大ホール	普段入場をご遠慮いただいている、小さなお子様を対象としたコンサート。お話をつけたり一緒に歌を歌ったり、親と子どもが共に楽しめる内容。
15	10月	出逢える音季(とき)	小ホール	小ホールの室内楽シリーズ。今年度は打楽器のアンサンブルが出演。
16	11月	準・メルクル/フランス国立リヨン管弦楽団	大ホール	横浜市の姉妹都市リヨンを拠点とし、フランスを代表するオーケストラの公演。指揮は新国立劇場に度々登場し、日本でも人気の高い準・メルクル。
17	11月	ズデネク・マカル/ チェコ・フィルハーモニー管弦楽団	大ホール	世界屈指のオーケストラの一つでもある名門チェコ・フィル。2007年のアジア・ツアーの一環として来日。チェコ人のシェフであるマカルと共に、十八番のスメタナ「わが祖国」全曲を演奏予定。

18	12月	NHK交響楽団 横浜定期演奏会	大ホール	日本を代表するオーケストラの横浜定期演奏会。年1回、定期的に開催。指揮は注目されている若手下野竜也。ソリストは、ウィーンフィルのコンサートマスター、ライナー・キュヒル。
19	1月	アンサンブル金沢ニューイヤーコンサート	大ホール	定着しつつあるアンサンブル金沢の横浜公演。アンサンブル金沢の特徴を活かした邦楽とのコラボレーションも演目に。
20	3月	ジャンドレア・ノセダ、ヒラリー・ハーン/ BBCフィルハーモニック管弦楽団	大ホール	イングランド北西部のマンチェスター、ブリッジウォーター・ホールを本拠地として活動するBBCフィルハーモニー管弦楽団の公演。首席指揮者ジャンドレア・ノセダの指揮のもと、ヴァイオリンでヒラリー・ハーンが登場。
21	3月	池辺晋一郎/音のからくり	小ホール	池辺晋一郎によるお話を交えた楽しいコンサート。
22	未定	題名のない音楽会21	大ホール	テレビ朝日系列で放映する「題名のない音楽会21」の公開収録をオーケストラの出演により実施。
23	未定	小ホールシリーズ	小ホール	年に2回公演。1回は洋楽器と邦楽器のコラボレーション、他1回は、国内外の一流アーティストによる、芸術性の高い室内楽演奏会。
24	未定	アウトリーチ事業		横浜OMPやその他の事業のアーティストによるアウトリーチ。市内小中学校と連携し、音楽を地域に広めていく。

芸術への市民アクセス拡大事業(体験・参加・学習等)

No.	開催時期	事業名	会場	事業内容
1	5月	横浜みなとみらいホール こどもの日コンサート	大ホール	現田茂夫指揮、神奈川フィルハーモニー管弦楽団の出演による、こどもを対象としたオーケストラコンサート。親しみやすい曲を、司会を交えて紹介する。池辺晋一郎がこのコンサートのために書き下ろした作品で、来場した子どもたちがオーケストラと一緒に演奏できるコーナーを設ける。
2	7月 8月	夏休みオルガンわくわく大作戦	リハーサル室、大ホール	夏休み期間に、こどもを対象として、オルガンを通してクラシック音楽に親しんでもらい、音楽の魅力を体験する、複合的な事業。リハーサル室でのワークショップや、実際に大ホールのパイプオルガンを弾いてみる体験型ワークショップ、小学生を対象としたプレコンサート・レクチャーなどを予定
3	8月 8月	ヤング・アメリカンズ・ミート・ジャパニーズ	リハーサル室、大ホール	子ども達に本格的なパフォーマンスアートの世界を体験してもらおうとアメリカで音楽公演と教育活動を行っている団体「ヤングアメリカンズ」が、横浜の子どもたちと一緒にショーを作る教育プロジェクト。
4	3月	みんなのオーケストラ	大ホール	神奈川フィルハーモニー管弦楽団主催の子どもを対象としたワークショップ「みんなのオーケストラ」の発表コンサート。ワークショップを経た青少年参加者約100名と、神奈川フィルハーモニー管弦楽団楽員が同じステージで一緒にオーケストラ曲を演奏する。「オーケストラの日」の3月31日に発表コンサート。

5	未定	子どものためのJAZZ事業		小中学生を中心にジャズを体験してもらうプログラム。エデュケーションコンサートの他、アウトリーチや、マスタークラスなども予定。
6	未定	こどもオペラ未来ワークショップ		子どもを対象とした、オペラを良く知ってもらうためのワークショップ。声楽家、画家を講師・ナビゲーターにし、オペラ(横浜オペラ未来プロジェクト)が出来上がるまでの過程を実際に見学した上で、参加者各自のオペラのイメージを絵に描いてもらう。そして実際に行われる本公演と比べてみる。絵を公演当日、ホワイエに展示。

都市政策的事業

No.	開催時期	事業名	会場	事業内容
1	6月	横浜フランス月間2007コンサート	小ホール	フランスからのアーティストがコンサートとワークショップを開催。横浜みなとみらいホールでは、ヴァイオリン、フルート、チェロ、ピアノ、パーカッションと、室内楽としては多彩な楽器の編成のアンサンブルが演奏する。 横浜フランス月間関連事業
2	6月	オルガンツアー		横浜みなとみらいホールのオルガンの他、フェリス女学院、ミューザ川崎などのホールのオルガンを見学する旅行会社のバスツアー。オルガンのネットワークを利用した協力事業。
3	9月	消防訓練コンサート	大ホール	演奏会の中で消防訓練を行う事で、より現実感と緊張感をもった状況の中、職員、スタッフが実際に災害が起きた場合の対応を実践的に養う。演奏は消防音楽隊を予定。
4	12月 1月	横浜みなとみらいホール ジルヴェスターコンサート2007～2008	大ホール	大晦日の夜に開演し、カウントダウンを経て新年を迎える年越しコンサート。飯森範親指揮で、多数のソリストが出演するガラ・コンサート。神奈川ゆかりの音楽家と一緒に集めた一晩だけのオーケストラが出演する。
5	1月	クイーンズ・ガラ・ニューイヤー2008 ウィーン・オペラ舞踏会管弦楽団 ニューイヤー・コンサート	大ホール	ウィーン・フォルクスオーパーのメンバーを中心とし、ウィーン国立歌劇場舞踏会のメインオーケストラとしても知られる管弦楽団と、オペレッタ歌手やバレエ団による、ニューイヤーコンサート。演奏会に先立って、小編成の楽団とバレエ団が、クイーンズスクエアやランドマークプラザ、パンパシフィックホテル横浜でライブを展開し、新年の近隣の賑わいと集客に貢献。
6	未定	横浜みなとみらいホール ロビーコンサート	エントランス、等	近隣の音楽大学の学生が中心になり実施グループを組織し、出演からコンサートの企画・運営までを制作。会場は、ホール1階のエントランス・ロビーの他、みなとみらい駅のイベント広場等近隣のスペースも使用。広く一般市民に告知し無料で公開する。

情報事業

No.	開催時期	事業名	会場	事業内容
1	通年	広報宣伝		主催事業、協力事業等の宣伝・販促

【横浜能楽堂】

芸術創造・発信事業

No.	開催時期	事業名	会場	事業内容
1	4月	企画公演「二つの『道成寺』」	本舞台	古典芸能の世界で幅広く活躍する能楽師・梅若六郎の演出で能の大曲「道成寺」と「道成寺」を原型とする沖縄固有の古典芸能・組踊「執心鐘入」を併せて上演。
2	4月	特別公演「伯母捨」	本舞台	人気・実力ともに現代を代表する能楽師・友枝昭世のシテに、一流の出演者を揃え能の秘曲「伯母捨」を上演。NHKと提携しハイビジョンで収録。全国放送されると共に、NHKのアーカイブに保存される。
3	5月	企画公演「もう一つの『翁』」	本舞台	早稲田大学演劇博物館を中心に、横浜国立大学、早稲田大学、法政大学、東京文化財研究所に所属する一線の研究者とプロジェクトチームを組み、学術的な観点から古い芸能の「翁」を復元し、上演。
4	12月	特別企画公演「響き合う日韓の琴」	本舞台	日本の琴と、琴と親戚関係にある韓国の伽倻琴の代表的な演奏家を日韓から招き、両国の名曲を演奏するほか、曲の交換演奏、横浜をテーマとした新作の合同演奏など多彩なプログラムの公演。

市民協働推進事業

No.	開催時期	事業名	会場	事業内容
1	11月	横浜能	本舞台	能楽愛好者の集まりである横浜能楽連盟との共同主催による公演。横浜ゆかりの出演者、曲を中心に、愛好団体と協力しながら普及のために実施。

芸術への市民アクセス拡大事業(鑑賞系)

No.	開催時期	事業名	会場	事業内容
1	8月 8月	特別普及公演「夏休み夢舞台」	本舞台	感性豊かな子どもたちにこそ最高の舞台を - と現代を代表する能楽師を揃えた豪華な公演を、普及公演並みの低料金で実施。子どもが楽しめる分かりやすい曲を解説付きで。
2	10月	普及公演 - ブランチ能 -	本舞台	子育て中の世代が気軽に能・狂言を楽しめるように平日の午前中に開催する公演。入園・入学前の子どもたちのために一時保育も実施。
3	3月	普及公演 - バリアフリー能 -	本舞台	様々な障害を持つ人が気兼ねなく能・狂言を楽しむことができるよう、介護者一名まで無料、点字解説、手話解説等の条件整備をした公演。
4	通年	常設展「初めて知る能・狂言の世界」	展示廊	能装束、扇、能面、謡本など能・狂言にまつわる基本的な資料を解説付きで展示。

芸術への市民アクセス拡大事業(体験・参加・学習等)

No.	開催時期	事業名	会場	事業内容
1	4月	横浜こども狂言会	本舞台	江戸時代の「武家式楽」の伝統を現代に伝える大蔵流狂言方・山本東次郎家の指導による「こども狂言ワークショップ - 卒業編 -」の成果を披露。130年の歴史を誇る本舞台上で、本物の狂言装束を着け小・中学生が狂言を1曲演じる。

2	8月	特別普及公演「夏休み夢舞台」 楽器体験教室	第二舞台	「夏休み夢舞台」のチケットを購入した子どもを対象に、事前学習として能の楽器の体験教室を実施。
3	8月	こども狂言ワークショップ - 入門編 -	第二舞台	子どもたちに、気軽に狂言に触れてもらうため、3回にわたり扇の使い方、足の運び、小謡など基礎的な稽古をした後、3日目には狂言の一部を演じる。受講生は、併せて「夏休み夢舞台」も鑑賞。
4	1月 3月	こども狂言ワークショップ - 卒業編 -	本舞台 第二舞台	夏休み期間中に開かれる「こども狂言ワークショップ - 入門編 -」参加者を対象に、「卒業編」を実施。
5	9月 3月	講座「この人 百話一芸」 ~	本舞台	NHKで長く古典芸能番組に携わる葛西聖司アナウンサーを聞き手に、古典芸能を代表する人たちをゲストとして迎え芸や人生を語ってもらうと共に、一つだけとっておきの芸を披露。

都市政策的事業

No.	開催時期	事業名	会場	事業内容
1	9月	あかりアーツコラボレーション2007	野外 (会場未定)	横浜の都市空間で古典芸能を上演。世界的な照明デザイナー・石井幹子が作り出す「あかり」とのコラボレーションにより、新たな芸術の世界を作り出す。

【横浜にぎわい座】

芸術創造・発信事業

No.	開催時期	事業名	会場	事業内容
1	不定期 年間10公演	日本テレビ「BS笑点」収録	芸能ホール	日本テレビとの協力により若手芸人の登竜門的番組「BS笑点」の収録会場として場の提供及び運営協力を行う。
2	10月	開港150周年記念 横浜大衆芸能史劇制作 「実録・改進黨女雲」	芸能ホール	開港以来、横浜を舞台に活躍した様々な演芸人を題材とし、横浜でのエピソードを主にストーリーを組み立て、劇化する。併せて講座や公開リハーサル、史料の展示などを行い立体的に横浜の大衆芸能史を紹介する。その成果は当館情報コーナーやWebサイトを活用し情報発信する。

芸術家発掘・支援事業

No.	開催時期	事業名	会場	事業内容
1	各月1回 (原則として 16日～月末 の平日夜)	育成事業:若手芸人育成支援公演	小ホール	「落語家 若手真打・二つ目」による公演、若手お笑い芸人ライブや合同公演など。 【主な出演予定者】 三遊亭全楽、三遊亭王楽、だるま食堂、神田京子などをはじめとした、大衆芸能各ジャンルの新進気鋭の若手及び新人芸人 【公演回数】 各月1公演(年間12公演)

市民協働推進事業

No.	開催時期	事業名	会場	事業内容
1	不定期 年間8公演	「野毛地区街づくり会」共催事業	芸能ホール 小ホール	野毛地区街づくり会との共催により、地元市民の手作りによるイベント(公演)の開催に施設を提供する。音楽・演劇・映像など多種多様な公演を行うことにより、文化事業の地元還元及び、外部からの来場者誘致による地域の賑わい創出を目指す。

芸術への市民アクセス拡大事業(鑑賞系)

No.	開催時期	事業名	会場	事業内容
1	通年 原則各月1 日～10日	常打ち公演: 「横浜にぎわい座 企画公演(演芸バラエティ)」	芸能ホール	落語、漫才、コント、講談、浪曲、奇術などからコメディドラマ、イリュージョンなど幅広くバラエティに富んだ公演を日替わりで提供する。 開催の形態も横浜にぎわい座ならではの特色がある「独演会」「二人会」「演芸バラエティ」「記念公演」など変化をつける。 また、各月にわたるシリーズ公演や有名芸人のホームグラウンドとしての定例開催も視野に入れる。 開催月によって、5月:周年記念興行、8月:児童・学生を対象とした公演、1月:正月興行のように時節を考慮した公演を行う。 特に、5月については「開館5周年記念」事業とし今まで培ってきた事業展開のノウハウを最大限に活用した魅力的なラインナップにより、潜在的な鑑賞者に対しても横浜にぎわい座を広くPRする機会にする。 【主な出演予定者】 各派(落語協会、落語芸術協会、円楽一門、立川流)所属落語家、漫才師、講談師、漫談師、浪曲師、奇術師、太神楽、曲独楽、ボーイズ芸、コントなど 【公演回数】 各月平均11公演(年間132公演)

2	通年 各月11日～15日	常打ち公演: 「横浜にぎわい座 有名会(寄席公演)」	芸能ホール	他地域では見ることができない、(社)落語芸術協会・(社)落語協会の所属芸人による合同公演を開催。 伝統にのっとった「寄席形式」でじっくり落語を堪能できる企画。 【主な出演予定者】 落語協会、落語芸術協会所属落語家及び色物 【公演回数】 各月5公演(年間60公演)
3	各月1回 (原則として11日～15日中の土曜日夜)	常打ち公演: 「横浜にぎわい座 名作落語の夕べ」	芸能ホール	館長:玉置宏を案内役に、(社)落語芸術協会・(社)落語協会の所属芸人により古典落語をじっくり聞かせる。 【主な出演予定者】 落語協会、落語芸術協会所属落語家(真打) 【公演回数】 各月1公演(年間12公演)
4	各回共に1ヶ月程度(年間4回)	大衆芸能関連展示	情報コーナー	常設展とは別に、時節、地元地域、人物、歴史などの切り口から、写真・文字資料・物品などを分かりやすくレイアウトして展示する。 特に、5月については「開館5周年記念展示」とし、開館以来の横浜にぎわい座の軌跡を振り返る展示を行う。 【開催回数&期間】 年間4回(常設展は除く)。各回1ヶ月程度。

芸術への市民アクセス拡大事業(体験・参加・学習等)

No.	開催時期	事業名	会場	事業内容
1	6月 8月 10月 12月 3月	体験・学習事業:大衆芸能関連講座	小ホール	大衆芸能の世界に対して理解・造詣を深めてもらえるよう解説と実演を織り交ぜた講座。講座内容の幅を広げるためにも、外部団体等との連携も検討する。 【想定される内容】 「落語(他にも各大衆芸能ジャンル)鑑賞入門講座」「寄席の一日解説」「横浜の大衆芸能史」「江戸文化を知る」など 【講座回数】 (6,8,10,1,2,3月 = 計6回)
2	8月 2月	体験学習事業: 大衆芸能体験ワークショップ	小ホール	大衆芸能を自身が体験することにより、より造詣を深めてもらえるようなワークショップ。 【想定される内容】 「落語・漫才体験」「曲芸ワークショップ」「マジック入門」など 【開催回数】 8月2回、2月1回(計3回)
3	7月 9月	体験学習事業: にぎわい座寄席体験プログラム	芸能ホール	(社)落語芸術協会との協働により、近隣の小学校を対象に平日の午前中(「有名会」開催時の午前)に開催する、寄席文化体験公演。 【想定される内容】 「鳴り物体験」「寄席解説」「分かりやすい落語」など 【開催回数】 7月4回、9月4回(計8回)

情報事業

No.	開催時期	事業名	会場	事業内容
1	通年	「電子大福帳」整備		横浜にぎわい座自主事業の演者・演目をはじめとするデータについて、大福帳(各公演で上演された演目と演者を記載した台帳)と音源・ビデオ、チラシなどの公演記録保存資料にリンクしたデータベース化により容易なアクセス方法を整備し、「大衆芸能情報センター」の基盤造りを行う。

【横浜赤レンガ倉庫 1 号館】

芸術創造・発信事業

No.	開催時期	事業名	会場	事業内容
1	6月	Red Brick Contemporary Dance File 東野祥子	ホール	2005年横浜ダンスコレクションRソロ×デュオコンペティションプラス「未来へはばたく横浜賞」を受賞
2	6月	Red Brick Contemporary Dance File Dance Company Nomade～s 「The damp elements-横たわる湿潤」	ホール	1989年結成以来、公演、ワークショップ、レクチャー等の活動を通じて、ダンスという枠組みを超えた様々な表現の現場において影響を与えている「ダンスカンパニーノマド」のダンス公演。
3	6月	Red Brick Contemporary Art File 横浜フランス月間2007 ビデオアート展	スペース	ビデオアートの展示
4	7月	Red Brick Contemporary Art File 関口照生写真展	スペース	出品者：関口照生
5	8月	横浜ローザ ～ 赤い靴の娼婦の伝説～	ホール	横浜の伝説である「浜のメリー」を舞台化、過去10年公演しており、ここ数年は全て完売。19年度も賑わい創出及び芸術創造発信の目的で実施する。
6	9月	Red Brick Contemporary Dance File 岩淵多喜子	ホール	横浜ダンスコレクション受賞者によるコンテンポラリーダンスの公演。それに附随してワークショップも検討。 横浜ダンスコレクション2001ソロ×デュオコンペティション「横浜市文化振興財団賞」及び「在日フランス大使館賞受賞」を受賞。
7	10月	横浜JAZZプロムナード	ホール イベント広場	横浜JAZZプロムナードの1会場としてホール及びイベント広場を提供
8	12月	coba「Bellows Lovers Night Vol.7」	ホール	cobaによる、蛇腹楽器誕生200周年に向けたカウントダウンプロジェクト。若手演奏家の紹介も目的に事業を展開。
9	12月	Red Brick Contemporary Dance File 白井剛・川口隆夫	ホール	横浜ダンスコレクション受賞者によるコンテンポラリーダンスの公演。それに付随してワークショップも検討。 横浜ダンスコレクション2000「パニョレ国際振付賞」を受賞。
10	1月 2月	横浜ダンスコレクションR シンポジウム、ダンスマネジメント会議	ホール	国内外のダンスディレクターによるシンポジウム、各国のダンスマーケット事情をテーマに開催され、情報交換と国際交流を目的とする。
11	3月	日本 - フィンランド共同制作プロジェクト	ホール	日本、フィンランドの混合キャスト・スタッフによって、長期にわたる日本でのレジデンスを経て舞台製作を目指す。
12	3月	Red Brick Contemporary Dance File 森下真樹	ホール	横浜ダンスコレクション受賞者によるコンテンポラリーダンスの公演。 横浜ダンスコレクション2004ソロ×デュオコンペティション「横浜芸術文化振興財団賞」を受賞。
13	3月	Red Brick Contemporary Dance File 伊藤キム	ホール	横浜ダンスコレクション受賞者によるコンテンポラリーダンスの公演。それに附随してワークショップも検討。 横浜ダンスコレクション96「パニョレ国際振付賞」を受賞。

芸術家発掘・支援事業

No.	開催時期	事業名	会場	事業内容
1	1月 2月	横浜ダンスコレクションR ソロ×デュオコンペティション	ホール	ダンスコレクションRの中心的な事業であり、新進振付家の登竜門として、若手芸術家の発掘・発信を行い、都市政策的にもアジアのダンスマーケット構築を目的とする事業。 出演者:グループ部門 数組 ソロ×デュオ部門 数組 開催日数:4日間
2	1月 2月	横浜ダンスコレクションR 受賞者公演	ホール	過去の受賞者による公演。現在のコンテンポラリーダンス界で注目のアジアの若手振付家による質の高い公演を提供することにより、芸術発信を目的とする。
3	1月 2月	横浜ダンスコレクションR ショーケース	スペース	コンテンポラリーダンスに関する催し物を無料開催することで、馴染みのうすい客層にもアピールすることを目的とし、芸術創造の発信及び若手芸術家を発掘する。
4	2月 3月	Red Brick Contemporary Art File 卒業制作展誘致・支援事業 DAWN PROJECT	スペース	若手アーティストの育成、支援による芸術文化の発信とともに、若者を多数集めることにより、賑わいの創出を図る。 出品者:美術系大学・専門学校数校 展示日数:60日間
5	2月	京都府福知山市 佐藤太清賞公募作品展	スペース	京都府福知山市と連携し、芸術を志す若者が応募した絵画の中から優秀作品を展示。他都市との連携、若手育成を目的としている。
6	12月 1月	U35 500アーティスト作品展	スペース	NPO法人チェコ・日本美術文化センターと共催の美術作品展

市民協働推進事業

No.	開催時期	事業名	会場	事業内容
1	3月	みなとYOKOHAMA演劇祭	ホール	全市的演劇フェスティバルの1会場として、2劇団4公演を行う。

都市政策的事業

No.	開催時期	事業名	会場	事業内容
1	4月	横浜赤レンガ倉庫5周年記念 OPEN GARDEN	イベント広場	横浜赤レンガ倉庫開館5周年記念イベント。2棟間のイベント広場に期間限定のオープンガーデンを設置。
2	4月	野毛大道芸	イベント広場	赤レンガ倉庫2号館、横浜みなとみらい21と連携し、イベント広場に横浜を代表するフェスティバルである野毛大道芸を誘致、賑わい創出を目的とする。
3	5月	横浜みなと祭 国際仮装行列	イベント広場	赤レンガ倉庫2号館、横浜みなとみらい21と連携し、イベント広場に横浜を代表する国際仮装行列を誘致、賑わい創出を目的とする。
4	7月 8月	ヨコハマEIZONE	スペース 1階スペース	横浜市では文化芸術創造都市作りの重点施策として、「映像文化都市づくり」を推進しており、その一環としてのフェスティバル。
5	10月	横浜オクトーバーフェスト	イベント広場	ドイツのビール祭を再現した国際色豊かなイベントを、横浜みなとみらい21・赤レンガ倉庫2号館と連携し開催。同時期のジャズプロムナードと連携し、街角ライブを展開し、賑わい創出を目的とする。

6	10月	横浜ファッションウィーク	1Fスペース	横浜市内のファッション産業の振興、さらには生活文化産業の発展に寄与することを目的に事業展開を図る。
7	12月 2月	Red Brick Contemporary Art File アートリンク 及び横浜ハーバーライトファンタジー サンクスキャンドル	赤レンガ イベント広場	スケートリンクをキャンパスに見立て若手芸術家の作品とリンクをコラボレーションさせるという新しい芸術の表現方法により、賑わいの創出及び若手芸術家の発掘を目的とする都市政策的な事業。 桜木町から山下公園にいたるエリアで行われる、冬季夜景イルミネーションイベントの一環。特に赤レンガ倉庫はその中心的な会場として、広域イベントの核となる。
8	2月	横浜国際女子駅伝	ホール スペース イベント広場	国際的なイベントを誘致。横浜の国際性を象徴する赤レンガ倉庫を発着点とし、ホール内はセレモニー及び大会関係者控え室に利用され、賑わい作りとTV中継による情報発信に寄与する。

【大佛次郎記念館】

市民協働推進事業

No.	開催時期	事業名	会場	事業内容
1	4月 12月	第7回 第8回大佛次郎研究会発表会	神奈川県立近代文学館ホールなど	大学教授や文芸評論家などで会員が構成され、大佛次郎の業績を研究する任意団体「大佛次郎研究会」の日ごろの研究の成果発表会。
2	2月	山手西洋館ユースギャラリー展	会議室	山手地区の小中高等学校の児童・生徒の描いた絵画などを展示する会場を提供する。

芸術への市民アクセス拡大事業(鑑賞系)

No.	開催時期	事業名	会場	事業内容
1	10月 11月	大佛次郎記念館特別展	ロビー ギャラリー	大佛次郎及び大佛の作品に関して、常設展では展示の難しい貴重な資料や未発表資料を、特定のテーマで約1ヶ月半間にわたり公開展示する。会期中に秋のお茶会開催予定。
2	6月 2月	大佛次郎記念館歴史講座	情報文化センター、横浜市開港記念会館講堂	大佛次郎の残した業績や関連する作品などを内容とする講演や大学教授など専門家による近代日本史を中心とする主題を設定した講演を実施。
3	2月	第33回大佛次郎賞受賞記念講演会	横浜市開港記念会館	朝日新聞社主催「大佛次郎賞」受賞者による記念講演会。受賞者が受賞作品に関する話題を中心に大佛作品にも触れながら講演。
4	通年	常設展	ロビー ギャラリー	大佛次郎の生涯や業績などを直筆原稿や初版本などの原資料や当時の写真、挿絵原画などを時代に沿って展示。また、大佛の愛用品や収蔵書も展示。

芸術への市民アクセス拡大事業(体験・参加・学習等)

No.	開催時期	事業名	会場	事業内容
1	5月 11月	大佛次郎記念館 春のお茶会、秋のお茶会	会議室 和室	大佛次郎愛用の茶道具による恒例のお茶会。流派は表千家、裏千家、江戸千家で持ち回りでやっている。春と秋の年2回開催。

情報事業

No.	開催時期	事業名	会場	事業内容
1	3月	「おさらぎ選書」の発刊		今後の大佛次郎、及び大佛次郎作品の研究などに役立てるため記念館所蔵資料、書誌、作品に関する研究成果、講演記録などを整理し選書にして公開する。
2	通年	広報事業		夏休み博物館ラリー、鉄道のキャンペーンなどへの参加
3	通年	ショップ事業	記念館受付	大佛次郎の著書、愛猫家だった大佛にちなんでの猫グッズ、記念館発行のおさらぎ選書の販売

【横浜市民ギャラリー】

芸術家発掘・支援事業

No.	開催時期	事業名	会場	事業内容
1	9月 10月	ニューアート展2007	横浜市民 ギャラリー	<p>新人作家の紹介を中心とした自主事業の取り組みにあたり、「新人作家」を必ずしも「若いアーティスト」とはとらえず、「斬新で独創的な表現に取り組んでいるアーティスト」と考え、そのようなアーティストを個展形式などで紹介する。同時代のアートについて、鑑賞者がより理解を深められるよう、アーティストによるワークショップやギャラリートーク等、体験型鑑賞活動を取り入れながら、柔軟な事業展開を図る。</p> <p>会期:9月下旬～10月下旬 会場:展示室(1F、2Fもしくは3Fおよび中3F) 関連事業:ギャラリートーク(2回)、ワークショップ(1回)</p>

芸術への市民アクセス拡大事業(鑑賞系)

No.	開催時期	事業名	会場	事業内容
1	2月 3月	横浜市民ギャラリー・コレクション展2008	横浜市民 ギャラリー	<p>横浜市民の貴重な財産である約1200点におよぶ作品を「過去」として捉えるのではなく「現在」を見つめるための手がかりとして積極的に活用する展覧会を「横浜市民ギャラリー・コレクション展」として開催する。作品の調査研究に基づいて、その秘められた価値を掘り下げ、コレクションの魅力を紹介する。</p> <p>会期:平成20年2月下旬から3月 会場:展示室(1F、2Fもしくは3F) 関連事業:ギャラリートーク(1回)、レクチャー(1回)</p>

芸術への市民アクセス拡大事業(体験・参加・学習等)

No.	開催時期	事業名	会場	事業内容
1	7月 8月	横浜市こどもの美術展2007	横浜市民 ギャラリー	<p>横浜市内の幼児、児童を対象とした無審査の公募展として夏休み期間に開催し、子どもと大人が絵画を通してふれ合い語り合う場を提供する。会期中、子どもたちが造形の楽しさに出会えるワークショップを実施し、専門家による解説やアドバイスが受けられる関連事業を行う。</p> <p>会期:7月下旬～8月上旬 会場:展示室(1F、2F、3F) 関連事業:ワークショップ(会期中常に実施) 専門家による解説コーナー(2回)</p>
2	10月 12月 3月	ハマキッズ・アートクラブ	横浜市民 ギャラリー	<p>幼児・児童を対象にした造形講座を横浜美術館子どものアトリエフレンズ事業と連携して行う。</p> <p>時期:10月、12月、平成20年3月 会場:アトリエ(B1F) 回数:3回 参加人数:1回約30名</p>
3	4月 1月	横浜市民ギャラリー絵画教室	横浜市民 ギャラリー	<p>初心者・中級者を対象とした絵画教室を主催する。</p> <p>年度末には卒業作品展を開催する。教室の運営の実務は、「横浜美術友の会」に委託する。</p> <p>時期:通年 会場:アトリエ(B1F) 回数:1コース全16回、12コース 参加人数:1コース約45名</p>

4	6月	ヨコハマ日曜画家展	横浜市民 ギャラリー	<p>横浜市内に在住・在勤・在学の16歳以上の方なら誰でも出品できる無審査の展覧会を「横浜美術友の会」と共催する。展覧会の運営の庶務・経理処理などの実務は、「横浜美術友の会」が担う。</p> <p>会期:6月24日(火)～7月1日(日) 会場:展示室(1F、2F、3FA)</p>
---	----	-----------	---------------	--

【横浜市民ギャラリーあざみ野】

芸術家発掘・支援事業

No.	開催時期	事業名	会場	事業内容
1	10月 11月	『クリエイティブ クラスタ in Azamino』 ～横浜創造界隈のアーティストたち～展	展示室1 及び2	「横浜創造界隈」を拠点とし、新しい美術表現の探求や、実験的な各芸術ジャンルのコラボレーションなどを精力的に行っているアーティストたちの作品や創作の思考を紹介。

市民協働推進事業

No.	開催時期	事業名	会場	事業内容
1	1月 3月	市民企画講座	アトリエ	市民が自主的に芸術文化活動を行える土壌を形成するために、アトリエで実施可能な事業アイデアを市民から募集。応募の中から、市民ギャラリーあざみ野で実施可能で施設を有効に活用でき、公益性の高いと思われるものを選出し、市民企画委員に諮ったうえで実施。
2	4月 3月	市民協働事業「丘からの船出」 モザイク造形(アートブラザ事業)	アートブラザ	地域の芸術家、学生などと協働し、モザイクの造形物を企画・制作。制作にはできる限り多くの市民の参加を得る。
3	4月 3月	アートフォーラムあざみ野(共同事業) Welcomeロビーコンサート (ワークショップ含む)	エントランス ロビー	市民が気軽に楽しめる無料のロビーコンサートを開催し、施設の賑わいと周知を図る。学生や市民の出演者と、市民広間演奏会の出演者も参加。
4	4月 3月	アートフォーラムあざみ野(共同事業) 「あざみ野の四季」	全館	市民にとって芸術文化活動がより身近に感じられることを目的として、共同事業として「アートフォーラムあざみ野の四季を楽しむ」シリーズを開催する。日頃芸術に関心があがったり、接点がない方にも気軽に参加し楽しんでいただけるイベントとする。
5	7月 8月	第2回 北部美術公募展	展示室1	横浜市北部4区(青葉、港北、都筑、緑)から公募した絵画を審査のうえ展示する。
6	11月	青葉区民芸術祭	展示室1	青葉区の芸術祭の開催。絵画、書道、華道、写真、文芸の展示のほか、茶道部会による茶会も開催される。区民の文化活動の成果発表の場の提供。
7	3月	国際女性デー関連 公募展(仮)	展示室1	国際女性デー(3月8日)を中心に、女性をテーマにした展示内容を公募し、展覧する。

芸術への市民アクセス拡大事業(鑑賞系)

No.	開催時期	事業名	会場	事業内容
1	6月 7月	横浜フランス月間2007 “Tu me manques / I miss you / 恋しくて” 展	展示室2	「横浜フランス月間2007」参加企画として、日仏学院との共催で造形作品(ミクストメディア)と映像作品の展覧会を開催。アートの新しい方向性を提示するとともに、施設の賑わい創出、「横浜フランス月間」の盛り上げに寄与する。
2	6月	横浜フランス月間2007 ボルドー音楽祭 イン・ヨコハマ ～Bordeaux Musique Festiv' in YOKOHAMA～ “une heure avec Ravel・・・ラヴェルとのひととき”	レクチャー ルーム	「横浜フランス月間2007」参加企画として、みなとみらいホールとも連携し、ボルドー音楽祭のコンサートを開催。「横浜フランス月間」の横浜市北部への展開を図り、施設の周知にも寄与する。

3	2月	アウトサイダーアート展(仮)	展示室1 及び2	規制の芸術の流派や傾向、モードに一切と られることなく自然に創作された絵画やオ ブジェなどの様々な表現作品の紹介、展 示。
4	4月 3月	アートフォーラムあざみ野(共同事業) あざみ野金曜サロン	レクチャー ルーム	アートフォーラムあざみ野のレクチャーホ ールで開催する共同文化事業。コンサート、映 画など、原則として金曜日の夜間開催す る。仕事を終えた後に楽しめる催しを中心と するが、夏休みなどは家族で楽しめるものも 開催する。

芸術への市民アクセス拡大事業(体験・参加・学習等)

No.	開催時期	事業名	会場	事業内容
1	8月 9月	あざみ野“夏の”こどもぎやらい2007	展示室1及 び2	子どもたちの事前のワークショップの作品ほ か公募した美術作品を展示。展示会場には 子どもたちが観るだけでなく参加して楽し める造形作品、ダンス、映像などのフリース ペースを設ける。9月には学校や幼稚園の団 体見学受付。
2	4月 3月	子どものアトリエフレンズ 「親子のフリーゾーン」	アトリエ	アトリエとアトリエ広場を会場として、横浜美 術館子どものアトリエで実施されている「親子 のフリーゾーン」を、月3～4回開催。粘土・絵 具・紙で遊べるコーナーを設ける。
3	4月 3月	子どものアトリエフレンズ 「わくわくワークショップ」	アトリエ	子どもを対象とした有料のワークショップを開 催。対象を「幼稚園・保育園の年長児に対応 する幼児」「小学校低学年」「小学校高学年」 に分け、月1回実施。
4	4月 3月	アトリエ事業「アートの技法」	アトリエ	毎週定期的に、『アートの技法[平面]』、 『アートの技法[立体]』と題し、アトリエで美 術の平面・立体表現の技法に関する連続講 座を実施。アトリエで様々な表現技法の普及 と活動を行うことにより、市民の芸術文化活 動を支援し、美術を鑑賞するときのヒントと する。
5	4月 3月	あざみ野オープンスタジオ	アトリエ	アトリエを個人の制作の場として使用したい、 という市民の声に応え、「あざみ野オープ ンスタジオ」と命名し、市民が自主的に立体・ 平面作品を制作する場を設ける。自主的な 制作を促す空間を創出するために、講師に よる指導はせず、参加者から制作等につ いて相談があった場合には、アトリエ担当の スタッフがアドバイスをします。
6	4月 3月	金曜講座	アトリエ	平日の昼間は講座に参加しにくい社会人が 参加できるよう夜間開催とし、複数のジャン ルのワークショップを行う。技法に留まらない 表現活動を体験し、その魅力を知ってもら う。
7	4月 3月	アウトリーチ事業	学校	小学校へのアウトリーチ事業を、今年度は美 術部門で4回程度開催する。北部4区の小学 校にプログラムを提示し、希望校から実施。
8	7月 8月	ユースのための (ダンス系)ワークショップ&発表	健康スタジ オ レクチャー ルーム	若い年齢層が求めているダンスなどのワー クショップを開催し、成果を発表していく。成 果をあげるため、数日間の集中ワークショップ とする。
9	4月 3月	男女共同参画センター横浜北・共催事業 セミナー「アートNPOの地域を開く力」ほか	セミナー ルーム、 アトリエ	アートと女性に関するセミナー、スライドトー クなどを男女共同参画センター横浜北と協働 して開催する。

【旭区民文化センター（サンハート）】

芸術家発掘・支援事業

No.	開催時期	事業名	会場	事業内容
1	8月 3月	旭区ゆかりのアーティストシリーズ	ホール	アーティストデータベースの登録者、あるいは旭区在住、在学、在勤、サンハート利用者など、旭区やサンハートにゆかりの深いアーティストによる公演。年2回開催。
2	2月	第5回サンハートユースアート展	ギャラリー	18歳以上40歳以下の方を対象とした美術の公募展。展示日数：5日間

市民協働推進事業

No.	開催時期	事業名	会場	事業内容
1	5月 11月	アーティストデータベース&公開プレゼンテーション	ホール	アーティストに登録してもらい、近隣施設などに派遣。また、施設内外での自主事業の出演者、講師として活用する。アーティストデータベースへ登録希望者(個人・団体・プロ・アマ不問)による公開プレゼンテーションを年2回開催。
2	6月 3月	サンハート区民企画	ホール 音楽ホール	区民から募った企画アイデアの中から、区民企画委員の手で選定・実施。年3回程度実施。
3	4月 3月	ロビーコンサート	情報 コーナー ほか	アーティストデータベース登録者により、情報コーナー等でランチコンサートを開催。年2回程度開催。
4	年間	【企画委員会の設置】&【アートマネジメント講座】	ミーティング ルーム、 ホールほか	市民による企画委員会を設置し、公募企画を検討し実施する。企画委員および一般を対象にしたアートマネジメント講座を開講し、区民の関心と理解を深める。
5	年間	【サンハート情報紙発行】&【ホームページ運営】 広報ボランティアスタッフの募集	-	広報ボランティアを募集し、下記の事業を区民と協働で進める。 1. サンハートの月刊ニュースの発行 取材 記事、写真など 編集 発行 2. サンハートのホームページの充実 18年度に立ち上げたホームページの中で、読み物的な記事を区民の力によって充実させていく。
6	5月 5月	第20回あさひ茶華道展	ホール、 ギャラリー、 ミーティング ルーム、 カルチャー 工房	旭区内で活動する茶道及び華道の活動を展示・発表する総合展。 開催：2日間 ホール / 華道各流派の生け花の展覧会 ギャラリー、カルチャー工房 / 茶道各流派による茶席 ミーティングルーム / 茶道・生け花実地体験コーナー
7	9月 9月	第16回旭区書道展	ホール ギャラリー	書道家協会会員と一般公募(旭区在住、在学、在勤)による書道作品展。 開催：6日間 ギャラリー 協会員作品展 ホール 公募展
8	10月 10月	第16回旭美展	カルチャー工房	旭美術協会会員と一般公募による旭区在住、在学、在勤の美術家の日本画、洋画展。毎年出展は200点にのぼる。 開催：6日間 ギャラリー 旭美術協会会員展 ホール 公募展(入選作品)

9	11月 12月	第28回旭区民文化祭	ホール 音楽ホール	音楽のつどい 開催:1日 音楽ホール 合唱、吹奏楽、邦楽など多ジャンルの公募 団体の発表 作品展 開催:5日間 ホール 絵画、書、写真、手工芸等の公募作品の展 示会。
10	年間	旭区役所共催事業	ホール ほか	区民と旭区役所との共催事業。

芸術への市民アクセス拡大事業(鑑賞系)

No.	開催時期	事業名	会場	事業内容
1	4月 1月	あさひ亭まねき寄席	ホール	若手俊英の落語家の出演による地域寄席。 年3回実施。
2	7月	あさひ亭まねき寄席特別企画 「親子で楽しむ寄席の世界」	ホール	親子向けの寄席。林家いっ平による解説 付。 出演:林家いっ平(予定)
3	9月 2月	ホール、音楽ホール鑑賞事業	ホール、音楽ホール	ポピュラー音楽に適したホール及びクラシッ ク音楽に適した音楽ホールの特性を生かした プロの演奏家によるコンサートを実施。

芸術への市民アクセス拡大事業(体験・参加・学習等)

No.	開催時期	事業名	会場	事業内容
1	7月 8月	夏休み子どものチャレンジ 「子どもハンドベル教室2007」	カルチャー 工房 &ホール	小学4年生～中学生対象。初心者クラスと経 験者クラスを開講。 講師:木村秋美(クローバー・ベルフレンズ) 講座:全7回(8回目は発表会)
2	7月 8月	夏休み子どものチャレンジ 「ホールのお仕事体験講座2007」	ミーティン グ ルーム	講師:サンハートスタッフ 講座:全4回
3	8月	夏休み1日施設開放デー、オープンデー	全施設	施設を終日市民に開放し、様々な芸術体験 ができる1日とする。 出演・講師:サンハート登録アーティスト、サ ンハート利用者
4	9月 11月	二俣川少年少女演劇講座	ミーティン グ ルーム、 ホール	中学生～30歳対象による戯曲を書く講座 講師:川村毅(劇作家・演出家、旭区出身) 講座:全6回+発表会 出演:川村毅・伊澤勉ほか
5	5月 2月	ハンドベル一日体験 (60歳以上・親子・子育て中の親)	カルチャー 工房 &ホール	対象を限定(60歳以上・親子・子育て中の 親)して開催。 講師:木村秋美(クローバー・ベルフレンズ) 回数:各1回
6	年間	教育&街づくりアウトリーチ	施設外	登録アーティストなどを活用し、学校、福祉 施設、街角などでの公演やワークショップ等 を行う。
7	年間	予約利用相談&文化活動相談事業	ホールほか	サンハートの利用者に対するより充実した利 用のための相談に対応できる体制を整える。 区内外の文化団体また文化活動を始めたい 市民に対しての相談業務を行う。

【磯子区民文化センター（杉田劇場）】

芸術創造・発信事業

No.	開催時期	事業名	会場	事業内容
1	1月	オリジナル・ミュージカル制作事業	ホール	今年度の区民協働事業の柱としてオリジナルのミュージカルを創作し、杉田劇場だけではなく、アウトリーチ事業として、地域へ出向いての公演も行なう。
2	2月	紙芝居づくりプロジェクト		紙芝居を創作し、さらに創作した紙芝居を演じる。

芸術家発掘・支援事業

No.	開催時期	事業名	会場	事業内容
1	4月 3月	新進アーティスト支援事業		若手アーティストを育成するため、実力ある新進アーティストに発表の機会を提供する。
2	4月 3月	地元アマチュア劇団共催事業	ホール	活動する場所が不足している地元のアマチュア劇団を支援し、地域を元気にするさまざまな活動へと発展するきっかけを作る。

市民協働推進事業

No.	開催時期	事業名	会場	事業内容
1	7月	区制80周年記念 PLUMS LIVE 2007	ホール	杉田商店街青少年部のメンバーによるバンド公演。区制80周年という節目の年においては、当日の運営にあたる市民ボランティアの募集、謝礼やチケット購入での地域通貨（ギタ券）導入、前座出演者の一般公募など、単なる公演実施に留まらず、その実施過程において、様々な形で地域とのつながりを創出することを目的とする。
2	6月	梅フェスティバル	ギャラリー	区民公募企画として実施。
3	未定	飛行艇サミット	ホール	埋もれていく過去を掘り起こして、地元の知られざる歴史の一面を後に伝えていくため、当時の関係者を中心に時代の証人たちを集めたシンポジウムを行なう。
4	4月 3月	区民企画委員会の運営	会議室	区民企画委員による事業の企画や運営計画を立てる場として、また館からの連絡調整を行なう場として定期的に区民企画委員会を開催する。
5	4月 3月	アートマネジメント講座		前年度に引き続き、公演・展示などイベントの企画・制作の実践的知識、技術を習得する。
6	4月 3月	区民企画委員プロデュース公演		今年度2期目の区民企画委員が企画運営の中心となって事業を行なう。今年度はホールでの卒業公演を行なう。
7	4月 3月	区民公募アイデア運営事業		区民から公募したアイデアを区民と一緒に実現する事業。
8	4月 3月	洋光台地域創り事業	洋光台地区 内集会所・ 公園・民間 小ホール	地域資源を生かした活動場所を確保し、地域のコミュニティの形成や課題解決を目指した地域文化活動拠点を作る。

芸術への市民アクセス拡大事業(鑑賞系)

No.	開催時期	事業名	会場	事業内容
1	4月	天満敦子バイオリン・リサイタル	ホール	新聞の連載小説のモデルで話題となり、テレビのドキュメンタリードラマでの演奏シーンでも脚光を浴びたヴァイオリニストのリサイタル。
2	5月	アンサンブル・ウィーン	ホール	区民アンケートでも声が多かった、世界的に著名な演奏家の演奏を身近なホールで聴きたいという要望に応じて、昨年に引き続きウィーン・フィルのメンバーによるコンサート。
3	6月	チェロ&ギター デュオコンサート	ホール	区民アンケートでも声が多かった、世界的に著名な演奏家の演奏を身近なホールで聴きたいという要望に応じて、スペインからチェロ&ギターの演奏家を招き、聴く機会の少ない珍しい組み合わせによる新しい響きを堪能してもらう。
4	7月	チェコ室内管弦楽団演奏会	ホール	
5	9月	チェコフィル・オクテット	ホール	区制80周年の記念式典の直前に、世界的トップクラスのオーケストラのメンバーによる演奏会を開催し、区を挙げての祝賀ムードを盛り上げる。
6	9月	ヤン・ラングレン スペシャルトリオ	ホール	人気の高いジャズの公演を今年度はスウェーデンの若手アーティストにより開催
7	9月	区制80周年記念 磯子区の歴史展		区制80周年を迎えるにあたり、磯子区の歴史の重みを区民が共有し、住民同士が地域のつながりを意識する機会とする。
8	7月	0歳からのコンサート ひよこコンサート クラシック	ホール	毎回好評の未就学児向けコンサート。初の音響反射板仕様によるクラシックコンサート仕立てで実施。
9	12月	0歳からのコンサート ひよこコンサート クリスマススペシャル	ホール	毎回好評の未就学児向けコンサート。NHKうたのおねえさん しゅうさえこさんによるクリスマスコンサート。

芸術への市民アクセス拡大事業(体験・参加・学習等)

No.	開催時期	事業名	会場	事業内容
1	4月 3月	ロビーパフォーマンス	ロビー	劇場のにぎわい創出と区民等の出演機会を作る。ジャンル不問。
2	3月	春風いそっ子コンサート	ホール	磯子区内の小中学生にホールで演奏する体験をさせ、各校の交流も図る。
3	8月	杉田劇場 夏祭り!	全施設	幅広い層に劇場を知ってもらうため、全館で一斉に催し物を展開。
4	2月	杉田劇場 冬祭り!	全施設	幅広い層に劇場を知ってもらうため、全館で一斉に催し物を展開。
5	4月 3月	美術系ワークショップ	リハーサル室 ギャラリー	生活のなかにあふれているデザインについて、活躍中のデザイナーの形や色に対する感性に触れ、物の本質の捉え方に関する視野を広げる。

6	4月 3月	アート倶楽部		特に最新の芸術潮流をジャンルを問わず学ぶ。文化資源発掘隊と協働で文化通信を発行。
7	4月 3月	杉劇たまたま箱	館外	音楽、パフォーマンスなど杉田劇場のソフトを地域へ届けるアウトリーチ事業。

情報事業

No.	開催時期	事業名	会場	事業内容
1	4月	いそご文化資源発掘隊	館外	これまでの活動成果を踏まえ、引き続き利用可能な人的・物的資源の発掘を行ない、活用の仕方についての検討も行なう。
2	4月～3月	杉田のメルがま		文化資源発掘隊、アート倶楽部の合同編集によるメールマガジン。文化的な情報の蓄積を目指す。
3	4月～3月	スマイルクラブ・スマイルファンド運営		スマイルクラブ、スマイルファンド会員にとっての魅力作りと新会員の獲得に向けた活動を展開する。
4	4月～3月	異業種交流		杉田劇場を支援してくれる企業同士が交流する場を作り、応援団の輪を広げていく。
5	4月～3月	杉田劇場の館長に聞け！	ロビー	個人の文化活動に関する疑問や悩みから、各種団体の事業実施に関する相談まで幅広く対応し、人や情報を結び付ける。

【吉野町市民プラザ】

芸術創造・発信事業

No.	開催時期	事業名	会場	事業内容
1	8月	薩摩琵琶演奏会	ホール	出演：地元ゆかりの若手邦楽演奏家及びベテラン演奏家 公演回数：2回（親子向け1回、一般向け1回）
2	8月	夏休みファミリーコンサート関連企画 若手絵本作家作品展	ギャラリー	夏休みファミリーコンサートで使用する絵本作品の公募展 展示：7日間
3	2月	クラシックコンサート	ホール	出演：地元ゆかりの若手クラシック奏者

市民協働推進事業

No.	開催時期	事業名	会場	事業内容
1	4月 3月	吉野町こどもプロジェクト	全館	地域のこどもが事業や運営に参加
2	9月 10月	伝統芸能に親しもう関連企画 舞踊ワークショップ	スタジオ	講師：地元ゆかりの舞踊家 講座回数：8回 発表：「伝統芸能に親しもう」本番に参加
3	10月	伝統芸能に親しもう	ホール スタジオ	出演：地元お囃子会、邦楽団体等 公演回数：1回 ワークショップ：1回
4	1月	吉野町市民プラザ美術展	ギャラリー	60歳以上の市民による公募展
5	4月 3月	ワークショップ修了者フォローアップ事業	スタジオ	ワークショップ修了者の活動を支援するため、練習会場を提供。
6	6月	楽しい邦楽フェスティバル	ホール	出演：南区邦楽会 回数：1回
7	11月	南区民文化祭 区民美術展	ギャラリー	区民を対象とした公募展 展示日数：4日間
8	12月	クリスマスコンサート	ホール	出演：合唱ワークショップ修了者 曲目：ミュージカルナンバー、ポピュラーソング 回数：1回
9	1月	新春邦楽のつどい	ホール	出演：南区邦楽会 回数：1回
10	2月	みなみ区民文化振興事業	ホール	回数：1回
11	3月	ワークショップ修了グループ合同発表会	ホール	出演：朗読、ギターワークショップ修了者 回数：1回
12	4月 3月	地域活力推進事業	ホール	ホールで地域を対象に音楽・演劇公演を行う団体を公募 音楽発表会等月5～6回

芸術への市民アクセス拡大事業（鑑賞系）

No.	開催時期	事業名	会場	事業内容
1	6月	桂歌丸独演会 怪談牡丹灯籠シリーズ第3回	ホール	出演：桂歌丸ほか 公演回数：1回

2	8月	夏休みファミリーコンサート ～音楽の絵本～	ホール	出演：神奈川フィル・プラスクインテットプラス ワン 公演回数：2回
3	11月	桂歌丸二人会	ホール	出演：桂歌丸ほか 公演回数：1回

芸術への市民アクセス拡大事業(体験・参加・学習等)

No.	開催時期	事業名	会場	事業内容
1	5月 7月	ギターワークショップ	スタジオ ホール	講師：地元ゆかりの演奏家 講座回数：11回 発表：1回
2	6月 8月	小中学生のための 薩摩琵琶ワークショップ	スタジオ	講師：地元ゆかりの若手邦楽演奏家 講座回数：6回 発表：薩摩琵琶演奏会に参加
3	8月	夏休み1日施設開放デー	全館	1日施設体験、バンドセッション、工作教室 等 講師：地元NPO、南区街の先生等
4	7月	神奈川フィル首席奏者による金管クリニック	全館	講師：森雅彦(神奈川フィル首席ホルン奏 者)ほか 発表会を行い、優秀者はファミリーコンサート 本番に参加

【岩間市民プラザ】

芸術創造・発信事業

No.	開催時期	事業名	会場	事業内容
1	4月 1月	上原まり瀬戸内源氏を語る	ホール	瀬戸内寂聴現代語訳「源氏物語」を元に、上原まりが「源氏物語」全帖の朗読舞台化に取り組んでいる。京都寂庵で披露後、実質当館が最初の発表の場となる。 また、毎回複合施設内の偕恵いわまワークスによるティーサービスを行い、障害者の就労機会の提供と、障害者理解の場としている。 日程：4月15日(日) 13:30 / 17:00 8月5日(日) 13:30 / 17:00 1月20日(日) 13:30 / 17:00

市民協働推進事業

No.	開催時期	事業名	会場	事業内容
1	6月	ほどがや人形劇フェスティバル	ホール	ほどがや人形劇フェスティバル実行委員会と共同で開催し、相鉄沿線で活動しているアマチュア劇団・プロ人形劇団を招いて人形劇の鑑賞と人形制作ワークショップを組み合わせた公演を実施。 出演者：アマチュア人形劇団3～4団体 プロ人形劇団1団体
2	2月	横浜映像天国	ホール	横浜市内を中心に活動する自主映画制作サークルや映像作家を目指す人々の作品を公募上映し、観客と審査員の投票により優秀作には活動支援を行う。また、横浜フィルムコミッションの活動を紹介したり、最新の映画事情から懐かしい映像の再現など、映像文化を紹介する企画も実施する。

芸術への市民アクセス拡大事業(鑑賞系)

No.	開催時期	事業名	会場	事業内容
1	4月 3月	シリーズ思い出名画館	ホール	シネコンの増加にともなう「名画座」の減少により、スクリーンで見ることの難しい往年の名画を16mmフィルムで上映する。1950年代から60年代の名画を上映することで、60年代後半から70代の方は青春時代の懐かしい思い出の名画を鑑賞し、若い世代は名作をスクリーンで鑑賞できる機会となる。事前登録の会員制度により実施。 【公演詳細】 日時：偶数月1回のマチネ公演(4/24ほか)
2	5月 3月	シリーズ午前の音楽会	ホール	クラシック音楽を気軽に楽しむ機会を提供するため、「トークつき」「低価格」「短時間」「午前中スタート」「3歳から鑑賞可」など、幅広い層の方々が来場しやすいよう工夫したコンサート。 【公演詳細】 日時：奇数月の日曜11:10～12:10 出演者：七澤清貴ほか
3	5月	シリーズ 大人の時間 朗読公演	ホール	退職した団塊の世代が地域の施設へ足を運ぶきっかけとなる事業として、「大人の時間」シリーズを実施。 シリーズの最初となる朗読は、題材に時代劇など、男性に人気の高いものを選び、楽器と共演するなど工夫する。

4	6月	シリーズ 大人の時間 パトリック・ヌジェの 「これがシャンソンだ！」	ホール	退職した団塊の世代が地域の施設へ足を運ぶきっかけとなる事業として、「大人の時間」シリーズを実施。 2回目はパトリック・ヌジェによる、「枯葉」、「ばら色の人生」などシャンソンの名曲を鑑賞。 [出演]パトリック・ヌジェ(シャンソン・アコーディオン)、ピアノ1名、ベース1名
5	9月	シリーズ 大人の時間 タンゴ公演	ホール	退職した団塊の世代が地域の施設へ足を運ぶきっかけとなる事業として、「大人の時間」シリーズを実施。 3回目は「碧空」、「ラ・クンパルシータ」など往年のタンゴ名曲を鑑賞。
6	8月	夏休み一日施設開放デー	全館	18年度、好評だった全館オープンイベント、「夏休み一日施設開放デー」を実施。岩間町内会の夏祭りにあわせて、控室として使用していた3F部分も開放し、より多くのイベントを楽しめるようにする。
7	8月	夏休み一日施設開放デー キッズコンサート	ホール	施設開放デーにあわせ、親子を対象としたイベントを実施。鑑賞するだけでなく、一緒に歌ったり、参加できるようにするなど、内容にも工夫を行う。
8	10月 2月	障害者社会就労センター 偕恵いわまワークス共催 障害者施設、老人施設アウトリーチ	アウトリーチ	複合施設内の障害者社会就労センター・偕恵いわまワークスと協力し、偕恵岩間ワークスが運営する障害者のグループホーム、老人施設などへ出張する公演を実施。 内容:クラシック、ジャズの演奏など。
9	11月	障害者社会就労センター 偕恵いわまワークスとの合同企画 バザー祭り チャリティーコンサート	ホール	複合施設内の障害者社会就労センター・偕恵いわまワークスと当館の合同文化祭。1・2階フロアで偕恵によるバザー・活動紹介・模擬店を行い、4Fホールではチャリティーコンサートを行う。収益の一部を障害者自立への活動資金として寄付する。

芸術への市民アクセス拡大事業(体験・参加・学習等)

No.	開催時期	事業名	会場	事業内容
1	10月	ゼロから始めるリコーダー	レクチャールーム	誰でも触ったことのある楽器・リコーダーに、大人になってふたたび挑戦するワークショップ。音楽初心者にも取り組みやすく、音楽人口の裾野を広げる。 講師:吉澤実(リコーダー奏者)
2	12月 1月	初心者のためのデジタルカメラ撮影入門	レクチャールーム	毎回、応募者多数のデジタルカメラ入門ワークショップ。未経験者・初心者を対象に機器の性能を知り、撮影の基礎を学んで、「ただ撮るだけの映像記録」から作品として残せるものにする楽しさを学ぶ。特に、退職後の方の応募が多く、地域施設に足を運ぶきっかけ作りともなる。 講師:森田正明(カメラマン)

3. 運営施設一覧

(1) 所管施設

	施設名	所在地	施設内容
1	横浜赤レンガ倉庫1号館	中区新港1-1-1	ホール(最大335席)、多目的スペース(3室) 予備室
2	大佛次郎記念館	中区山手町113	展示室、閲覧室、会議室、和室
3	横浜市吉野町市民プラザ	南区吉野町5-26	多目的ホール(200席)、スタジオ(3室)、ギャラリー 会議室等
4	横浜市岩間市民プラザ	保土ヶ谷区岩間町1-7-15	ホール(185席)、スタジオ(3室)、ギャラリー リハーサル室、レクチャールーム等

(2) 指定管理者施設

	施設名(指定期間)	所在地	施設内容
1	横浜美術館 (平成19年度は暫定指定管理者) (平成20年度～24年度)	西区みなとみらい3-4-1	展示室(7室、2,668㎡)、市民のアトリエ(586㎡) 子どものアトリエ(631㎡)、アートギャラリー(195㎡) 美術情報センター、美術図書館 ミュージアムショップ、レクチャーホール(240席)
2	横浜みなとみらいホール (平成19年度～23年度)	西区みなとみらい2-3-6	大ホール(2,020席)、小ホール(440席) リハーサル室、レセプションルーム 音楽練習室(6室)
3	横浜能楽堂 (平成19年度～23年度)	西区紅葉ヶ丘27-2	本舞台(486席)、第二舞台 研修室(4室)、展示廊等
4	横浜にぎわい座 (平成18年度～22年度)	中区野毛町3-110-1	芸能ホール(410席)、小ホール(200㎡) 練習室(50㎡)、制作室
5	横浜市民ギャラリー (平成18年度～22年度)	中区万代町1-1 教育文化センター内	展示室(5室、計1,403㎡)
6	横浜市民ギャラリーあざみ野 (平成17年度～21年度)	青葉区あざみ野南1-17-3	展示室、アトリエ、アートプラザ、作品保管室 収蔵庫等
7	横浜市旭区民文化センター 「サンハート」 (平成18年度～22年度)	旭区二俣川1-3 二俣川北口共同ビル5階	ホール(300席)、音楽ホール(103席) アートギャラリー、ミーティングルーム(2室) カルチャー工房、音楽工房(4室)等
8	横浜市磯子区民文化センター 「杉田劇場」 (平成16年度～21年度)	磯子区杉田1-1-1 らびすた新杉田4階	ホール(310席)、ギャラリー、リハーサル室 会議室(3室)、練習室(3室)等

(3) 指定管理者の共同事業体の一員として管理運営に参加する施設

	施設名(指定期間)	所在地	施設内容
1	関内ホール (平成18年度～22年度)	中区住吉町4-42-1	大ホール(1,102席)、小ホール(264席) リハーサル室(4室)等

(4) 横浜市より管理運営を受託している施設

	施設名(受託期間)	所在地	施設内容
1	ZAIM(本館・別館) (平成18年度～19年度)	中区日本大通34	本館: 交流サロン、シアター 別館: 1Fホール(174㎡)、2Fホール(319㎡) スペース(20室)